

石巻市NPO支援オフィス通信
N PO N PO
月刊 んぼん舗
平成23年11月号 第99号 毎月10日発行

発行日 2011年11月10日
発行 石巻市NPO支援オフィス
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63
TEL/FAX 0225-23-3641
E-mail nposhien@pluto.plala.or.jp
URL http://www.ishinomaki-npo.jp/

登録団体インフォメーション

新・登録団体 **オフィス登録番号104**

団体名:
THURSDAY NIGHT LONELYHEARTS CLUB
(サーズナイトロンリーハーツクラブ)

- 設立目的:異文化交流と英会話の上達を目指し、ネイティブスピーカーと交流する
- 活動内容:毎週木曜日に石巻中央公民館に集まり、活動する。主にALTの離着任の時や、季節のイベント時にパーティーを催し日々の成果を実践する。

新・登録団体 **オフィス登録番号105**

団体名:レインボープロジェクト

- 設立目的
 - ・震災後の子ども(0~18歳)の保育・教育の現状把握
 - ・石巻で活動する子ども支援団体同士の情報発信
- 活動内容
 - ・保育・教育の環境調査
 - ・石巻の子ども支援団体同士の情報共有

オフィス登録番号77 NPO法人 障害児と共に歩む会

学校ってどんなところ?就学相談会

お子さんの就学について不安を抱えているご家族の皆さん、解決の方向を共に探っていきませんか。

- 日時:11月19日(土)午前10時~12時
- 場所:被災地障がい者支援センターみやぎ石巻支部 (蛇田字中坪37、シーガル裏)
- お問合せ:0225-25-5388 (月~金・10時~17時) 080-3303-3107 大園(おおぞの)
- 主催:NPO法人障害児と共に歩む会
- 後援:被災地障がい者支援センターみやぎ石巻支部

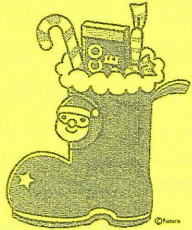
*相談無料。子ども連れでも結構です。

オフィス登録番号96 NPO法人 よいぞって石巻

クリスマス会

ゲームなどでお楽しみいただけます。

- 日時:12月11日(日)10:00~
- 場所:赤井市民センター
- 会費:1000円(保険料含む)
- お問合せ:93-2528(阿部幸子)



助成金情報

トヨタ財団 2011年度地域社会プログラム
「継ぐ、つくる、つながる-共に拓く地域の未来」
東日本大震災対応「特定課題」

- 対象地域:東日本大震災の被災地域(青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、千葉など)ならびに、上記に居住地のある人びとが、現在避難している地域
- 要件:被災地の住民主体で、多様なメンバーを巻き込んだもの
- 助成対象
 - ・継ぐ:地域で紡がれてきた歴史や文化の継承、震災の記録 等
 - ・つくる:仮設住宅内での居場所づくり、暮らしの再建に向けた地域プランの作成、地域の祭り・鎮魂祭などイベントの実施 等
 - ・つながる:震災情報の収集・発信、つながりを失くした人びとをつなぐ取り組み、避難者と受入れ住民との交流 等
- 助成額:6000万円(1件あたり上限300万円)
- 募集締切:11月29日(火)消印有効、(Web:11月30日(水)17時)
- お問合せ:〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階私書箱236号 公益財団法人トヨタ財団 国内支援グループ「震災対応プロジェクト・チーム」
TEL:03-3344-1701 FAX:03-3342-6911
<http://www.toyotafound.or.jp/>

平成24年度 子どもゆめ基金
子どもの体験活動・読書活動助成

- 助成対象
 - 子どもを対象とする体験活動や読書活動
【体験活動】キャンプや自然観察など自然体験活動、科学実験教室など科学体験活動、高齢者介護体験など社会奉仕体験活動、農業・漁業など地場産業の体験や商業体験、異世代・異文化・地域間等の交流を目的としたスポーツ・文化・芸術活動など
 - 【読書活動】読み聞かせ会、読書会、お話会など
 - 子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動
【体験活動】指導者養成(各種体験活動の指導者を養成する研修会など)、フォーラム等振興普及活動
 - 【読書活動】指導者養成等(指導的な読み聞かせボランティアを育成する講座など)、フォーラム等振興普及活動
- 助成限度額
市区町村規模100万円、都道府県規模200万円、全国規模600万円
- お問合せ 独立行政法人国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金部 助成課
フリーダイヤル:0120-579081(携帯不可)月~金9:00~17:45
TEL:03-5790-8117・8118 FAX:03-6407-7720
E-mail:yume@niye.go.jp <http://yumekikin.niye.go.jp/>

石巻市で活動する団体の皆様の今

団体の皆様へ、震災後の活動状況などの聞き取り調査を行いました。団体さんの状況をご報告致します。

●スワン国際協力の会SWAN

震災後は被災者の方々へ、女性用セット(石鹸・シャンプー・化粧水)、包丁やまな板などの支援物資をお届けしました。茶会、生け花、コンサートも開催しました。現在のメイン活動は、被災者の方々へお花をお届けすることです。(インターネットで「被災地に花を贈って下さい」と呼びかけたところ、全国からたくさんのお花が届くようになりました)スキンケア教室やキャンドル作りなども開催し、被災者に寄り添った活動を続けていきたいと思っています。

●石巻を考える女性の会

震災後は、復興イベントなどで他のNPOのお手伝いをしたり、川開きまつりに出店しました。メンバーそれぞれ被災状況は様々で、住宅全壊、床上浸水など、大きな被害を受けたメンバーもいます。それぞれ大変な状況ですが、家庭や仕事、他の会の活動で忙しくしており、皆元気に過ごしています。現在は、以前のように講演会やセミナーの開催はあまりできない状況ですが、これからの活動について、いろいろ模索していこうと思っています。

●NPO法人石巻インターネット放送

震災支援活動として、インターネット上で支援金を集めました。被災企業への支援、石巻市へ支援金として寄付、被災者支援のための炊き出し等の資金としてお届けしました。また、机や中古パソコンを全国から取り寄せ、被災企業へ寄付しました。会員それぞれの被災状況を配慮し、関われる会員で無理のない活動を続けています。今後も今まで通り、インターネット放送事業を通じ、地域の振興を図る活動を続けていきたいです。復興に向けて、イベントの支援もしていきたいと思っています。

●U-ネットEMみやぎの会石巻支部

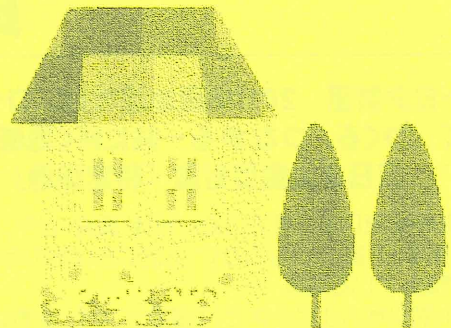
震災前は、生ゴミのリサイクルに力を入れ、電気式生ゴミ処理機の講習会などもしようと話し合っていました。震災後は状況が大きく変わってしまい、現在は活動を休止しています。

皆様、お忙しい中、お話を聞かせて下さってありがとうございました。今後もお声掛けさせて頂く場合があるかと思えます。その時もまた、どうぞご協力下さいますようお願い致します。

宮城県応急仮設住宅生活環境アセスメント調査事業

みやぎ連携復興センターの事業で、仮設住宅団地の周辺環境、団地内におけるコミュニティ形成度合いの調査事業を開始しました。この事業に、石巻市では(特活)石巻スポーツ振興サポートセンター、石巻復興支援ネットワークやっぺす石巻の皆様と共に、いしのみきNPOセンターも協力させて頂いています。東松島市を含んだ、五つのエリアの仮設住宅団地の環境調査を、調査員二名一組で一エリアずつを担当し、現地で情報収集やヒアリング調査を行っています。

(仮設住宅周辺のお店の状況、病院、金融機関など、周辺環境の細かい調査、集会所の利用状況や自治会などのコミュニティ調査)仮設住宅生活の課題を明確にし、支援へつなげる為の調査事業です。



編集後記

ここ何ヶ月か、オフィスの会議室・交流サロンを利用される方が増えてきています。特に印刷機をご使用になる団体さんが多く来られます。(料金がお得ですね。と皆様仰います)一階の交流サロンは、話し合いや作業をされる方も多く、お茶やコーヒーを飲みながら、皆様それぞれ自由に過ごされています。時には賑やかになることもあります。これからもぜひオフィスをご利用になって頂きたいです。

